

平成 2 1 事業年度監事監査報告書

平成 2 2 年 6 月 2 1 日

独立行政法人教員研修センター
理事長 遠藤 純一郎 殿

独立行政法人教員研修センター

監事 田 中 旭 

監事 福 田 誠 

私たちは、独立行政法人通則法第 3 8 条第 2 項の規定に基づき、平成 2 1 事業年度の独立行政法人教員研修センター（以下、「法人」という。）の業務及び会計について監査を行ったので、その結果を下記のとおり提出します。

記

1 監査の方法の概要

役員会その他重要な会議に出席するほか、理事等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について、月次監査結果と併せて検討を加えるとともに、内部統制やその他の業務の状況についても監査を行いました。

2 監査結果

(1) 業務の監査結果

平成 2 1 事業年度の法人の業務は、その設置目的に沿い、法令その他の定めに従って、適正に処理されていると認める。

(2) 会計の監査結果

① 予算の執行及び資金の運用の状況、金銭の出納管理、契約の状況等について、関係帳簿及びその他証拠書類に基づき監査を実施した結果、計数・内容とも適正であると認める。

② 独立行政法人通則法第 3 8 条に基づき作成された財務諸表は、独立行政法人会計基準等に準拠して作成されており、法人の財務状況、運営状況、キャッシュフローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示しているものと認める。

③ 決算報告書は、法人の予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。

(3) 平成 1 8 年度に発生した物品調達に係る収賄事件の再発防止策への対応の再発防止策への対応状況については、次のとおり実施していることを確認し、適正に対応しているものと認める。

① 適正な人事配置

新たに会計課長補佐を配置しチェック機能の強化を図るとともに、在職期間の長期化を避ける対応として、人事異動を行うなど適正な人事配置を行っている。

- ②契約事務の明確化と内部けん制体制の強化
契約事務処理をマニュアル化し、契約事務担当者に対しマニュアルに沿った事務処理の徹底を図るとともに、発注者と納品を検収する者とを分けるなど契約事務の明確化と内部けん制体制の強化している。
- ③応札者を増やす工夫
競争入札の公告期間を拡大するなど、応札者を増やす工夫を行っている。
- ④「倫理」に関する意識啓発の機会の充実
職員に対して適宜「就業規程」、「倫理規程」を配付の上、禁止行為等について説明を行うとともに、「倫理」に関する意識啓発の機会の充実を図っている。
- ⑤その他
業務の専門性の向上を図るため、新たに配置した会計課長補佐に簿記研修及び会計検査院の実施する政府出資法人等内部監査業務講習会を受講させている。また、その他の職員についても事務能力を向上させる研修を順次受講させ、一般職員の資質向上と専門性の向上に努めている。

なお、二度とこのような事件が発生しないよう、対策防止策の引継ぎを確実にを行い、引き続き再発防止に鋭意取り組むとともに、職員の意識啓発に努められることを要望する。

3 是正又は改善を要する事項

定期監査に関わる事項については、特になし。

4 その他

平成21年度は、第3期中期目標期間の3年次にあたり、平成19年度に実施された事務事業の見直し結果を踏まえて、研修事業の内容・方法等の改善や管理運營業務の効率化が引き続き着実に行われていると認める。
今後においても、平成19年度策定された独立行政法人整理合理化計画等を踏まえ、業務運営の一層の効率化に努めるとともに、効率的かつ適切な財務処理を行い、所期の目標が達成されるよう期待する。